



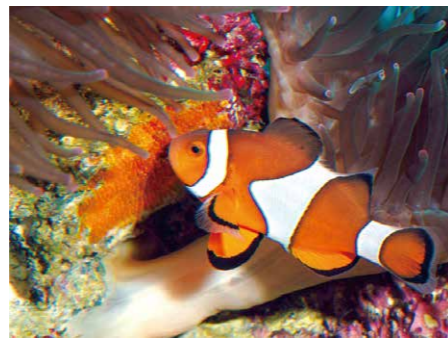
鴨川シーワールドの魚類繁殖の取り組み 11年目のコーラルメッセージ

トロピカルアイランド内に、2014年3月にリニューアルした「サンゴ礁の願いCoral Message」(以下、コーラルメッセージ)では、リニューアルを機に水族館生まれの魚の展示種数を増やすことを目指し、繁殖に取り組んできました。現在、中央のサンゴ水そうを取り囲む5基の円柱型水そうと2基の角型水そうに、カクレクマノミをはじめとした水族館生まれの魚を展示しています。それらの中には、公益社団法人日本動物園水族館協会からの受賞実績もあります。今回は2014年のリニューアル後からこれまでの繁殖と育成の取り組みについて紹介します。

クマノミ類は入門魚

展示している飼育下での繁殖種としてはクマノミ類が大部分を占めています。中でもカクレクマノミは人気の高い種で、このコーラルメッセージのシンボルとして常時約300尾のカクレクマノミを展示しています。2023年には当館では28年ぶりとなるクマノミの繁殖に成功し、日本に生息するクマノミの仲間6種類すべてをコーラルメッセージで展示

できました。繁殖個体で展示を続けることは大変ですが、卵が大きいと手先の飼育係の繁殖入門種となっています。



▲カクレクマノミ 卵を守る親

38年ぶりの快挙、 オイランヨウジとコブダイ

2015年にはオイランヨウジとコブダイの国内初繁殖に成功し、2016年度「繁殖賞」を2種で同時に受賞しました。鴨川シーワールドで魚類の繁殖賞受賞は1973年に成功したハマクマノミ、1977年に成功したイバラタツ以来38年ぶりとなりました。オイランヨウジは静岡県以南の岩場やサンゴ礁でみられるヨウジウオの仲間です。本種のメスはオスの腹部に卵を産み付け、オスは卵がふ化するまで

守ります。ふ化直前でオスを育成用の水そうへ移動し、ふ化後はオスを展示水そうへ戻し子どもの育成をしました。コブダイは日本沿岸の岩礁域に生息するペラの仲間です。エコアクアローム「入江の岩場」で産卵行動が見られたため卵を回収したところ、約6000卵回収したうちのわずか数十卵が受精していてそこからふ化した子どもを育成しました。



▲オイランヨウジの子ども (22日齢)



▲コブダイの子ども (309日齢)



▲角型水そう

繁殖賞と初繁殖認定

ここで本文中に出てくる「繁殖賞」と「初繁殖認定」の説明をしておきます。公益社団法人日本動物園水族館協会では、加盟園館における飼育生物の繁殖が、日本で初めての成功例と認められた場合に、その功績を「繁殖賞」として表彰してきました。1956年に制定され、2019年の規程改変にともない「初繁殖認定」と名称を変更しています。鴨川シーワールドでは、1973年にハマクマノミで初めての「繁殖賞」を受賞しました。



▲「繁殖賞」のメダルと「初繁殖認定証」の展示

繁殖年月日	受賞年度	種名
1973.6.14	1976年度	ハマクマノミ
1977.5.11	1980年度	イバラタツ
1981.8.31	1982年度	オーストラリアアシカ
1994.6.6	1995年度	セイウチ
1998.1.11	1999年度	シャチ
2003.4.25	2004年度	カスピカイアザラシ(人工)
2003.7.17	2004年度	バンドウイルカ(人工授精)
2015.3.10	2016年度	オイランヨウジ
2015.5.16	2016年度	コブダイ
2018.7.23	2020年度	サンギルイシモチ
2018.9.8	2020年度	オウサマペンギン(人工授精)
2019.5.29	2020年度	カマイルカ(人工授精)
2024.5.5	申請中	ヒメツバメウオ

▲表: 鴨川シーワールドで繁殖賞と初繁殖認定を受賞した動物

サンギルイシモチ

サンギルイシモチは鹿児島県以南のサンゴ礁の内湾で群れをつくり生活するテンジクダイの仲間です。この仲間は、メスが産卵した卵のかたまりをオスが口にくわえてふ化

するまで守る、口内保育をおこなうことが知られています。2018年7月に裏方の水そうで飼育していた個体を展示水そうへ移す際、卵を吐き出したため、回収して管理を続けたところ、ふ化・育成に成功しました。2019年5月にはこの育成個体が初めて口内保育をしていることが確認でき、2世代目の繁殖育成にも成功し、この成果に対して2020年度の「初繁殖認定」を受賞しました。



▲サンギルイシモチの子ども (262日齢)

ヒメツバメウオ

ヒメツバメウオは、沖縄県以南のサンゴ礁内湾の海水域や汽水域、純淡水域に幅広く生息する魚です。2024年5月初旬の夕方に「エメラルドの入江」で水そう内の魚が何かを食べていたので注意深く観察すると、それは浮遊する卵でした。回収して経過を観察したところ、翌々日にふ化した子どもが確認できました。育成作業のかたわらで、水そうにいる魚の中で産卵しそうな種を調べたところ、ヒメツバメウオが候補にあがりました。ヒメツバメウオの繁殖に関する資料が乏しかったため、これまでの経験から手探りで育成を続けると同時に、親魚の産卵周期や産卵行動も調査しました。2024年10月に5cmほどまで成長した子どもを角型水そうで展示しました。この成果は2025年度の「初繁殖認定」に申請中です。



▲ヒメツバメウオの子ども (138日齢)

クロウミウマ

クロウミウマは、太平洋やインド洋の沿岸域に生息するタツノオトシゴの仲間です。この仲間はメスがオスの「育児のう」という袋状の器官の中に産卵し、卵を育てることが知られています。2024年7月に搬入したクロウミウマがペアだったようで、搬入後10日ほど経ったある日、飼育している水そう内に数尾の子どもが遊泳していました。発見が遅かったのか回収できた子どもは25尾と少なかったのですが、その後も2週間ほどの間隔で産出が続き、多い時には1000尾ほどの子どもを産出しました。これまで、クロウミウマの繁殖経験がなかったので、資料をもとに水そうの形状や水替えの仕方、エサの種類を検討しながら育成し、2025年2月に角型水そうで展示ができました。



▲クロウミウマの子ども (2025年3月3日撮影)

おわりに

「コーラルメッセージ」ではこれまでに、15種類の繁殖生物を展示してきました。水族館内ではまだまだ多くの生物が産卵したり、子どもを産んだりしていますが、私たち飼育員の育成技術が伴わず展示まで至らない種類も多くいます。少しずつ知識や技術を蓄え繁殖育成のできる種類を増やしていくことで、自然からの採集に頼らず展示を維持し、多くのお客様に生物の魅力を発信できる施設にしていきたいと考えています。

魚類展示課 引馬 由恵
Yoshie Hikuma

鴨川市「二十歳の集い」開催

1月12日に鴨川市「二十歳（はたち）の集い」（旧名称：鴨川市成人式）をおこないました。2004年に始まり今回で21回目となる式典に、今

マーケティング課 根岸 祐実
Yumi Negishi



絵画展「みんなの鴨川シーワールド」

マーケティング課 古賀 壮太郎
Sotaro Koga



2025年度鴨川シーワールド入社式

マーケティング課 三橋 有香
Yuka Mitsuhashi



「飼育の日」特別レクチャー開催

開発展示課 高倉 敦子
Atsuko Takakura



▲ 13歳になった「ルーナ」(2025年7月時点)

飼育員の
イチオシ

「ルーナ」と共に



▲ 生後約5か月



▲ 約1歳半(体長約300cm、体重約460kg)

海獣展示一課 宮川 裕道
Hiromichi Miyakawa

Kamogawa Sea World NEWS

鴨川シーワールドニュース
2024/11/1▶2025/4/30

動物友の会月例会

テーマ:調べてみよう!鴨川シーワールドのなかまたち

実施日	タイトル	出席者数
2024年度 11/23、30	ファッションリーダーはだれ?	48名
12/14、21	カメは息つきすぎる?しない?	52名
1/18、25	骨、ほね、ホネ!?	54名
2/15、22	鴨川シーワールドの 健康管理とトレーニング	67名
3/16、23	水族館の役割と仕事	51名

テーマ:鴨川シーワールドのなかまたち

実施日	タイトル	出席者数
2025年度 4/19、26	クラゲ・サンゴの仲間(刺胞動物)	25名

動物友の会2月例会
「鴨川シーワールドの
健康管理とトレーニング」



イベント

館内催事

11/2 計量の日「海の生き物 公開体重測定」

セイウチ
公開体重測定



11/17 家族の日特別イベント

・家族の日特別レクチャー

「海の生き物たちの子育て」(参加者160名)

・鴨川警察署「交通安全キャンペーン」

1/1 ~ 31 2023お正月イベント

・新春恒例「笑うアシカと初笑いコンテスト」(1/1 ~ 31)

館内催事

2/11 「鴨川市民DAY」開催

・鴨川市民入館無料(2,281名)

・鴨川市民DAY特別レクチャー「鴨川シーワールドの保護活動」(参加者110名)

・絵画展「みんなの鴨川シーワールド」(1/30 ~ 3/7)

・ORACAS☆「チアパフォーマンス」

・鴨川警察署「交通安全キャンペーン」

4/1 ~ 55th「Aniversary Year」

2026/3/31 新公式テーマソング Dream Ami「KIRAKIRA DAYS」

講演

11/21 「水族館の仕事」 開催:長生町立長生中学校 講師:高橋社員(参加者20名)

レクチャー

11/15 動物レクチャー

「海の生き物ハローワーク」、「鴨川シーワールドの保護活動」他(計3回、参加者354名)

4/19、20 日本動物園水族館協会「飼育の日」協賛行事

特別レクチャー「クラゲの飼育」開催(計2回、参加者120名)

研究発表

11/22、23 第63回日本爬虫両棲類学会 姫路大会

「鴨川シーワールドにおける屋外飼育下ニホンイシガメ

(Mauremys japonica)の繁殖生態」 発表者:豊島社員

1/20、21 第69回水族館技術者研究会

「ヒメツバメウオの繁殖育成」 発表者:引馬社員

2/4、5 第50回海獣技術者研究会

「カマイルカ新生子における初期哺育への人為介入」 発表者:柴原社員

その他

11/2 ~ 10 満喫体験、鴨川シーワールドホテル満喫宿泊プラン(計4回、参加者37名)

11/16 ~ 12/15 大人のナイトプラン(計9回、参加者270名)

12/21 ~ 1/31 特別展示「2025年干支の生き物~海の巳(へび)たち~」



特別展示
「2025年干支の生き物
~海の巳(へび)たち~」

12/22 ~ 25 鴨川シーワールドホテル クリスマスディナー付き宿泊プラン(計4回、参加者92名)

12/25 ~ 1/4 第11回ウィンタースクール(計7回、参加者283名)



第11回
ウィンタースクール

12/28 ~ 1/13 冬の水族館探検プラン(計8回、参加者220名)

1/12 鴨川市「二十歳の集い」(参加者161名)

1/18 ~ 2/24 シャチプレミアムプラン、

鴨川シーワールドホテル シャチプレミアム宿泊プラン(計12回、参加者447名)

3/1 ~ 4/5 水族館探検プラン(計8回、参加者218名)

3/23 ~ 4/3 ナイトアドベンチャー(計12回、参加者579名)

●本紙の一部または全部を許可なく転載、複製することは著作権法で禁止されています。

表紙写真:繁殖に成功したヒメツバメウオの親魚



鴨川シーワールド

〒296-0041 千葉県鴨川市東町1464-18
TEL:04-7093-4803 FAX:04-7093-4829

<https://www.kamogawa-seaworld.jp/>
鴨川シーワールドは、グランピスタ ホテル&リゾートが運営する施設です。